

# **北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会**

## **第5回資料**

### **【参考資料】**

## 第5回資料【参考資料】 目次

1	鉄道駅と併設した道の駅事例	1
2	周辺道の駅の状況	1
3	施設配置パターン図	2
4	規制・誘導手法の概要	4
5	駅舎の規模等	5
6	北陸新幹線駅舎のデザインコンセプト事例	7
7	デザインコンセプトを表現した デザイン・イメージ等	8

# 1 鉄道駅と併設した道の駅事例

自動車以外の手段でも利用できるようになることで、より幅広い人々の来訪が期待できることから、全国に 29 箇所整備されています。

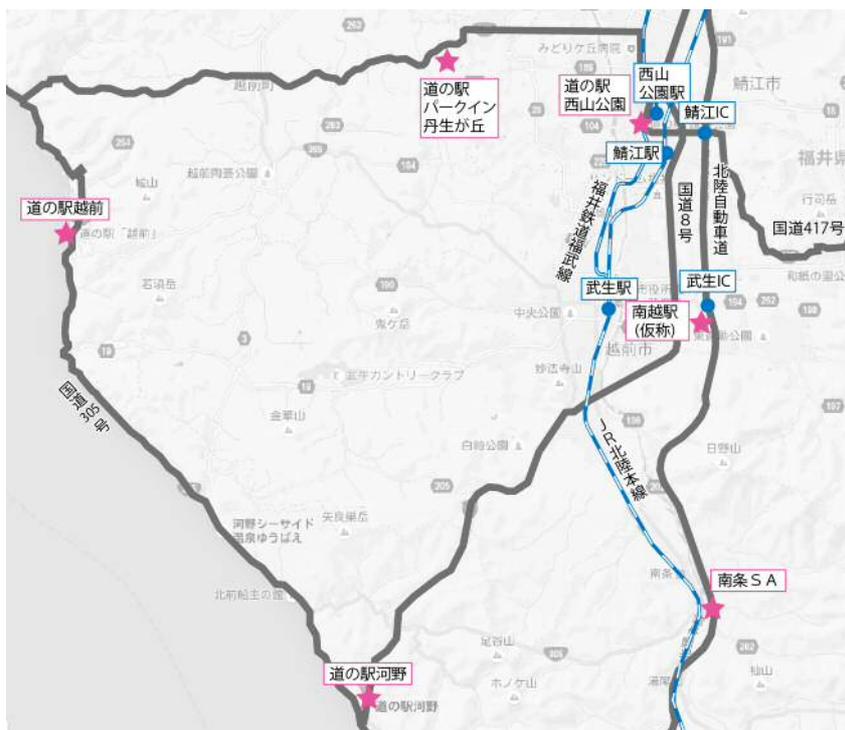
山あいの観光地や地域の中心部など様々な場所で整備され、利用しやすさから年間 100 万人以上の利用客数を誇る道の駅も存在します。

主な道の駅		
<p>(道の駅日和佐)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 徳島県美波町</li> <li>➢ 人々の生活の中心にある鉄道駅そばに道の駅を整備</li> <li>➢ 整備した足湯を多くの地域住民も利用し、年間 258.7 万人の利用を実現</li> </ul>	<p>(織部の里もとす)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 岐阜県本巣市</li> <li>➢ 鉄道のそばに併設された日本初の道の駅</li> <li>➢ 年間 135.7 万人の利用を実現</li> </ul>	<p>(歓遊舎ひこさん)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 福岡県添田町</li> <li>➢ 道の駅の隣に新駅を整備</li> <li>➢ 年間 105.5 万人の利用を実現</li> </ul>

※ 利用者数：2009 年全国主要道の駅調査結果(日経グローバル)より参照

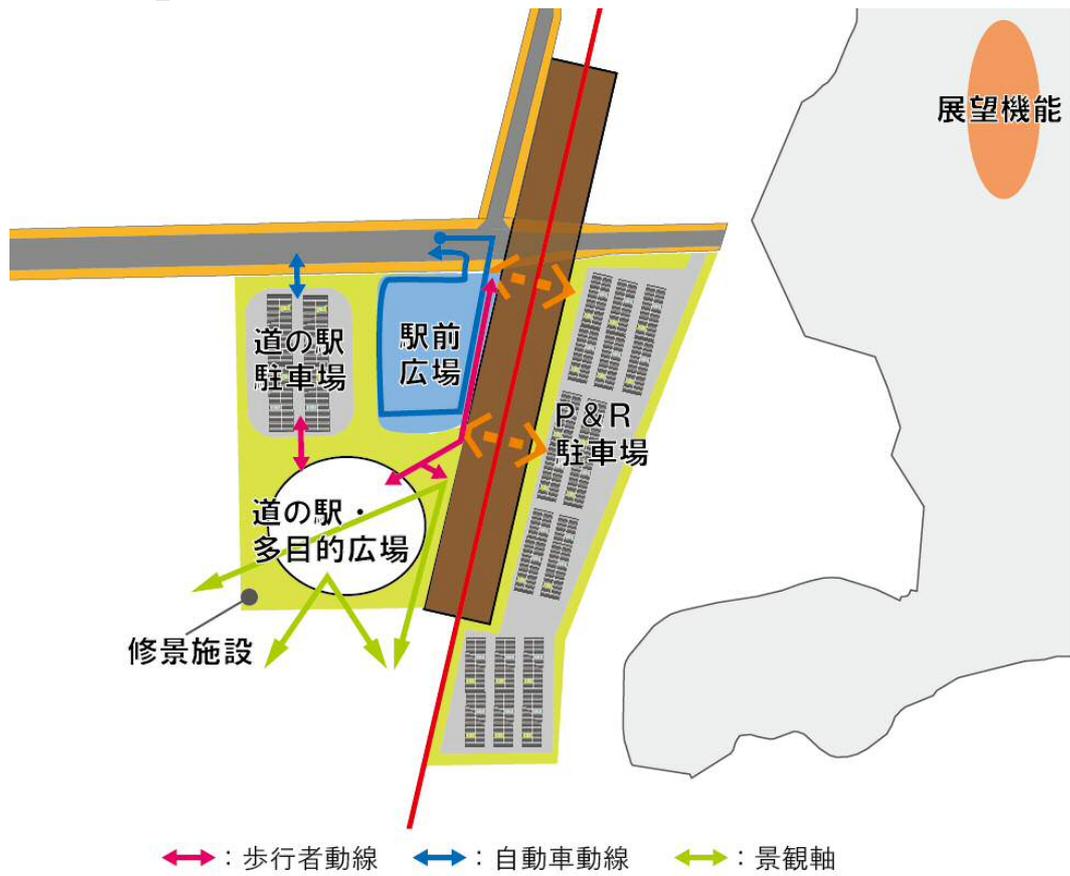
# 2 周辺道の駅の状況

- 南越駅(仮称)周辺には現在 4 つの道の駅が立地しています。
- このうち、国道 8 号沿いの道の駅は道の駅河野のみで、南越駅(仮称)からは約 17Km 離れています。
- 道の駅の設計要領では、道の駅が休憩施設として機能することから、適切な配置距離を「25Km 以下」と定めており、駅周辺は道の駅の設置が望ましい状況にあります。



### 3 施設配置パターン図

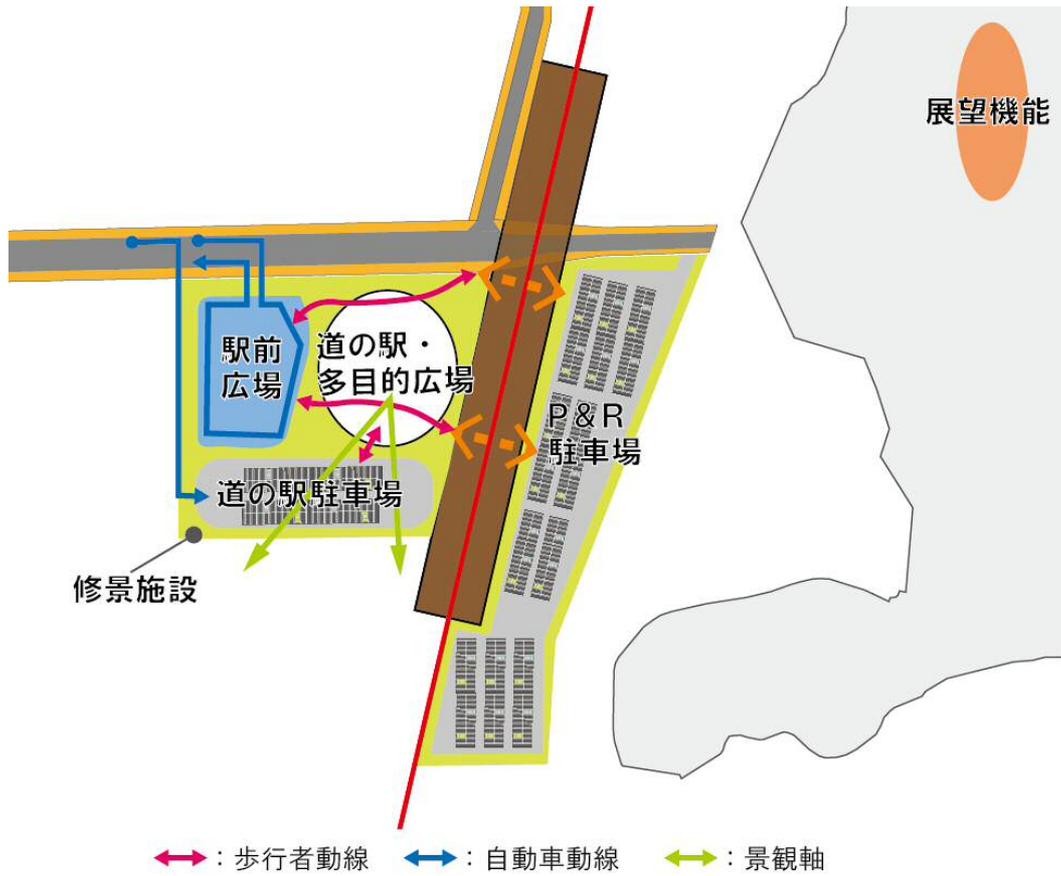
【パターン1】



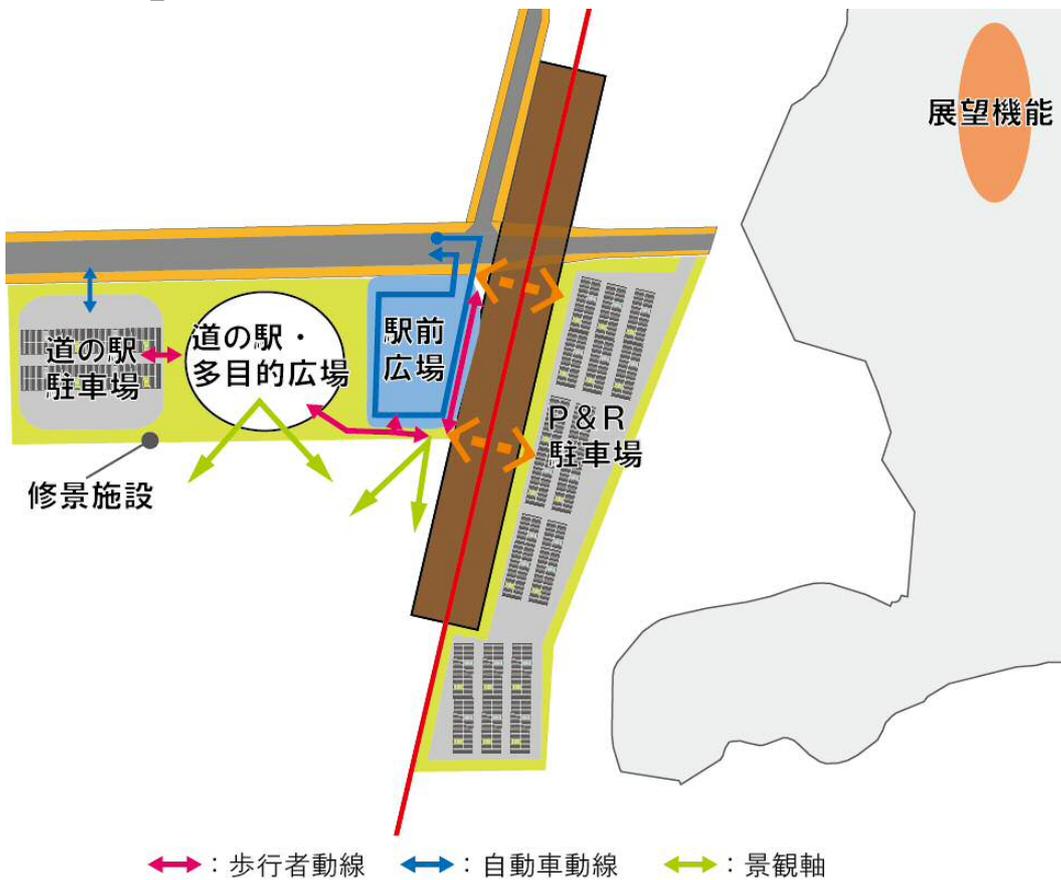
【パターン2】



### 【パターン3】



### 【パターン4】



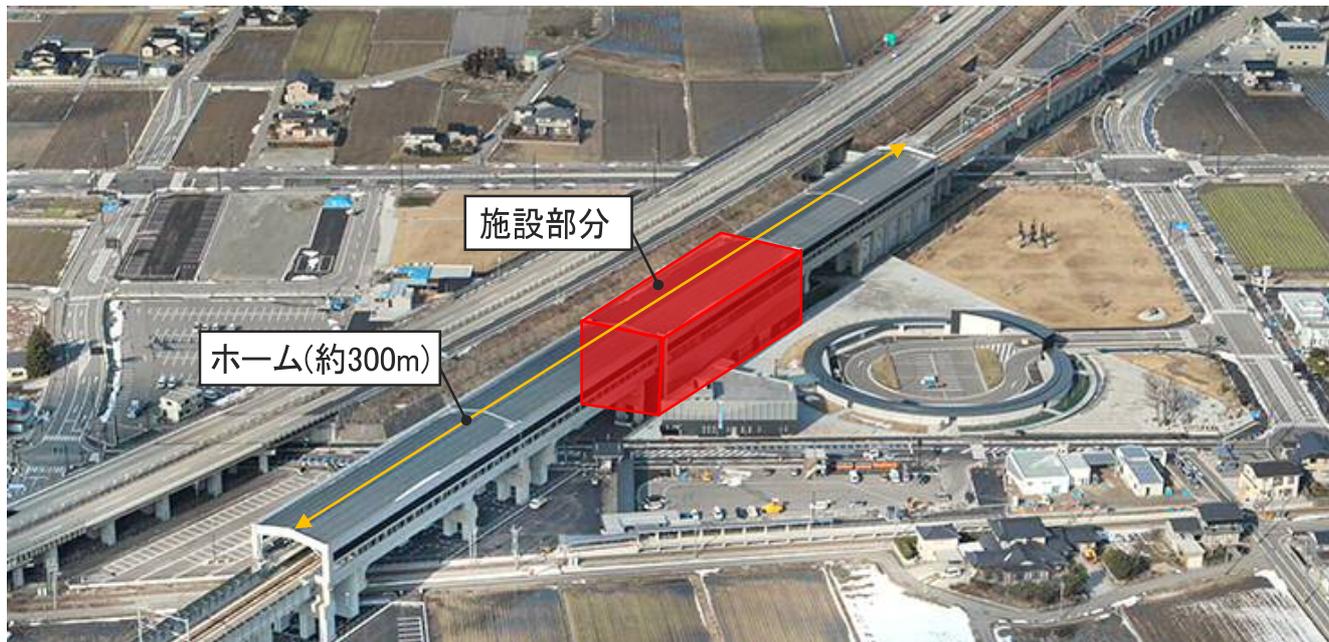
## 4 規制・誘導手法の概要

名称	根拠法	制限できる内容	特徴
用途地域	都市計画法	◆建築物の用途	都市的な土地利用を図る地域に対して、都市計画法で定められた12種類の用途地域の中から、地区の特性に応じた地域を指定できる。
特定用途制限	都市計画法	◆建築物の用途	白地地域(用途地域の定められていない区域)における用途規制を定めることができる。
地区計画	都市計画法など	◆土地の使い方に関するルール (建築物の用途の制限、容積率の最高限度/最低限度、建ぺい率の最高限度、敷地面積/建築面積の最低限度 など) ◆建物の建て方に関するルール (壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度/最低限度、形態又は意匠の制限、垣又はさくの構造の制限 など)	都市計画レベルの制限(用途地域、建ぺい率、容積率 など)よりも小さな地区レベルを対象に、地区の特性に応じたルール及び制限内容を定めることができる。
建築協定	建築基準法	◆建築物の敷地、用途、形態、意匠等に関する基準	地域住民間で、土地所有者等全員の合意の下、建築物の敷地、用途、形態、意匠等の基準を地区計画よりも自由に指定できる。
緑地協定	都市緑地法	◆緑地の保全または緑化の推進に関する基準	地域住民間で、地域の良好な環境を確保するため、緑地の保全または緑化の推進に関する事項について自ら設けることができる。
まちづくり条例	—	◆建築物の敷地、用途、形態、意匠等に関する基準 ◆緑地の保全または緑化の推進に関する基準	上記ルールにおける制限のほか、まちの将来像や地域住民との協働のあり方などの方針を定めることができる。

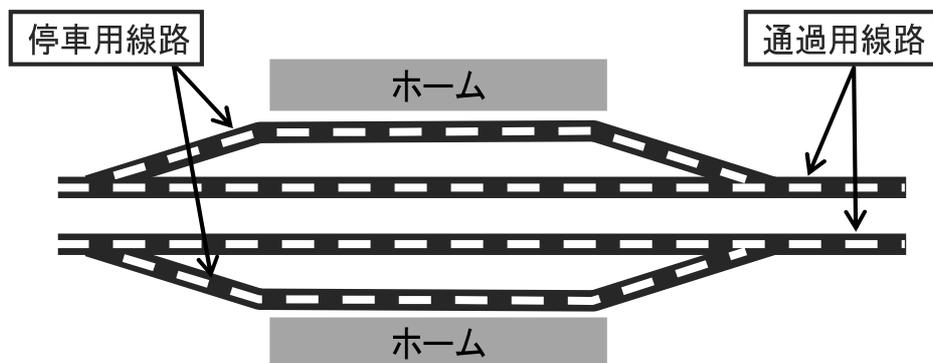
## 5 駅舎の規模等

- 高さ：20m程度(※北陸新幹線他駅の規模から)
- 長さ：300m程度(※ホーム長)
- ホーム形式：相対式2面4線

### ■ 駅舎規模イメージ(黒部宇奈月温泉駅)



### ■ 相対式2面4線のイメージ



### 視点1：国道8号



### 視点2：県道武生インター線



### 視点3：市道第4240号線



## 6 北陸新幹線駅舎のデザインコンセプト事例

- 駅舎の設計・建築は鉄道・運輸機構が担当します。
- 駅舎デザイン案について、地域が要望した駅舎デザインコンセプトをもとに、鉄道・運輸機構がデザイン案を決定します。

駅名	駅舎デザインコンセプト	駅舎デザイン案
新高岡駅 	飛越能の自然・伝統・技術が融合し、新たな時代を具現化するデザイン	飛越能の歴史を継承する駅
黒部 宇奈月 温泉駅 	見えない駅・魅せる駅	豊富な水を湛える 黒部の自然が映り込んだ駅
糸魚川駅 	日本海、北アルプス、ヒスイをシンボルとして	日本海と北アルプスに抱かれた雄大な自然を感じさせる駅
上越 妙高駅 	記憶に残る駅	「さくらと雪の平原」 ～心地よい軽やかさと 繊細さ～
飯山駅 	豊かな自然の懷に抱かれたやすらぎの駅	雄大な大地と伝統美を感じさせる駅 ～雪と伝統文化の融和～

## 7 デザインコンセプトを表現したデザイン・イメージ等

### 新高岡駅

国宝「瑞龍寺」の回廊や縦格子(さまのこ)などをデザインモチーフに、縦のラインを強調したデザインがなされています。  
外壁は合掌造りや高岡銅器、能登の珠洲焼などを感じさせる色合いを使用しています。漏れる灯りは能登のキリコ祭りの灯明や砺波地方の夜高祭りの行灯を彷彿とさせます。



### 黒部宇奈月温泉駅

自然を表現すべく、清冽な水の流れる黒部峡谷をイメージしたガラスの使用や風や水、雲、立山の山並み等を表現するウェーブラインの表現が用いられています。  
また、アルミ建材や立山杉、国会議事堂にも使われている大理石などの地場産材も随所に使用されています。



### 糸魚川駅

大地をイメージした壁面にストライプをダイナミックに配置することで、ジオパークに指定されている糸魚川市に見られる特有の地層「フォッサマグナ」と特産品のヒスイを表現しています。



### 上越妙高駅

妙高連山を眺められる「光のテラス」をコンコースに設けるなど、周辺の景色を取り込んだ駅舎デザインがなされています。



### 飯山駅

地域の雪化粧をした美しく雄大な山並みと、伝統文化の和紙の柔らかさを、白を基調に緩やかに波打つ外壁で表現している。  
シンプルで周囲の景観に溶け込む、違和感や圧迫感のないデザインとなっています。

